

## ブログ・・たわしの「読書メモ」(「通信」非掲載)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0067

- ・木村敏『自己・あいだ・時間－現象学的精神病理学』ちくま学芸文庫 2006

たわしの「読書メモ」 ブログ 0066

- ・竹中均『自閉症の社会学－もう一つのコミュニケーション論』世界思想社 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0065

- ・高岡健『自閉症論の原点－定型発達者との分断戦線超える』雲母書房 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0064

- ・野家啓一「ガリレオに対する二度目の断罪」(『現代思想 2009.9 特集ガリレオ』青土社 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0063

- ・斉藤くるみ『少数言語としての手話』東京大学出版会 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0062

- ・廣松渉「精神の間主体的存在構造－「精神異常」の存立構制の定位のために－」
- ・鼎談 木村敏／廣松渉／中川久定「自己・役割・他者」

(『思想 1983.2』所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0061

- ・村瀬学『自閉症－これまでの見解に異議あり!』ちくま新書 2006

たわしの「読書メモ」 ブログ 0060

- ・小澤勲『自閉症とは何か』洋泉社 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0059

- ・木村晴美『ろう者の世界 続・日本手話とろう文化』生活書院 2009(ブログ遅れて掲載)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0058

- ・的場昭弘『ネオ共産主義論』光文社新書 2006

たわしの「読書メモ」 ブログ 0057

- ・長瀬修編『わかりやすい障害者の権利条約－知的障害のあるひとの権利のために－』全日本手をつなぐ育成会 2009

たわしの「読書メモ」 ブログ 0056

- ・的場昭弘『マルクスだったらこう考える』光文社新書 2004

たわしの「読書メモ」 ブログ 0055

- ・的場昭弘『ポスト現代のマルクス－マルクス像の再構成をめぐる』お茶の水書房 2001

たわしの「読書メモ」 ブログ 0054

- ・『情況 1999.11月号 特集 物象化・批判理論・そして情況の三十年』

特集

清水多吉「フランクフルト学派とわが「情況」」

大庭健「意味と価値」

吉田憲夫「宇野経済学方法論と廣松物象化論」

野家啓一「廣松物象化論と現代科学論」

的場昭弘「アルチュセールとマルクス」・『ポスト現代のマルクス』所収

たわしの「読書メモ」 ブログ 0053

・『季刊 福祉労働 123 情報保障・コミュニケーション支援』現代書館 2009

たわしの「読書メモ」 ブログ 0052

・的場昭弘『もうひとつの世界がやってくる—危機の時代に新しい可能性を見る』世界書院 2009

たわしの「読書メモ」 ブログ 0051

・パティ・ラッド/森壮也監訳『ろう文化の歴史と展望—ろうコミュニティの脱植民地化』

明石書店 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0050

・ハーラン・レイン/長瀬修訳『善意の仮面—聴能主義とろう文化の闘い』現代書館 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0049

・ポール・プレストン/澁谷智子・井上朝日訳『聞こえない親をもつ聞こえる子どもたち—ろう文化と聴文化の間に生きる人々』現代書館 2003

たわしの「読書メモ」 ブログ 0048

・立岩真也/大谷いずみ/天田城介+小泉義之/堀田義太郎「座談会 生存の臨界」  
(立命館大学生存学研究センター編『生存学 Vol.1』生活書院 2009 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0047

・篠原孝『農的循環社会への道』創森社 2000

たわしの「読書メモ」 ブログ 0046

・佐々木力『21世紀のマルクス主義』ちくま学芸文庫 2006

たわしの「読書メモ」 ブログ 0045

・『日本語学 1994.2 特集手話』明治書院

たわしの「読書メモ」 ブログ 0044

・ヴィゴツキー(柴田義松訳)『精神発達の理論』明治図書 1970

たわしの「読書メモ」 ブログ 0043

・市田泰弘「日本手話の文法と語彙」(『日本語学 1994.2 特集手話』明治書院 所収)「手話の言語学」(『月刊言語』2005.1~12 連載 大修館書店 )

たわしの「読書メモ」 ブログ 0042

・『福祉労働 117 特集:障害者権利条約をどう読み、どう活かすか』現代書館 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0041

・山下幸子『「健常」であることを見つめる—一九七〇年代障害当事者/健全者運動から』生活書院 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0040

・最首悟『星子が居る一言葉なく語りかける重複障害の娘との20年』世織書房 1998(ブログ未掲載)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0039

・寺本晃久/岡部耕典/末永弘/岩橋誠治『良い支援?-知的障害/自閉の人たちの自立生活と支援』生活書院 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0038

・立岩真也『良い死』筑摩書房 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0037

・『現代思想 2009年2月号 特集=ケアの未来-介護・労働・市場』2009

たわしの「読書メモ」 ブログ 0036

・藤林晋一郎「「障害者」の中の民族差別-結婚差別訴訟での意見書より-(『差別とたたかう文化 第二期創刊2号』1991 解放出版社 所収)1991

たわしの「読書メモ」 ブログ 0035

・廣松渉(笠松明広インタビュー)「差別の存在構造を考える」(『差別とたたかう文化 第二期創刊2号』1991 解放出版社 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0034

・中村満紀男編著『優生学と障害者』明石書店 2004

たわしの「読書メモ」 ブログ 0033

・埴谷雄高編『内ゲバの論理』三一新書 1974

たわしの「読書メモ」 ブログ 0032

・いいだもも他『検証 内ゲバ』社会批評社 2001(ブログ遅れて掲載)

・いいだもも/蔵田計成ほか『検証 内ゲバ PART2』社会批評社 2003(ブログ遅れて掲載)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0031

・『福祉労働 120 特集:脅かされる生存、棄民政策からの転換のために』現代書館 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0030

・『福祉労働 121 特集:障害者権利条約と障害者雇用』現代書館 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0029

・ユクスキュル/クリサート『生物から見た世界』岩波文庫 2005

たわしの「読書メモ」 ブログ 0028[「通信」19]

・障害学研究編集委員会編『障害学研究 4』障害学会(明石書店)2008

書評を雑誌に投稿企画中(出さず)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0027

・日本社会臨床学会編 『シリーズ「社会臨床の視界」第3巻「新優生学」時代の生老病死』現代書館 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0026

・長瀬修/東俊裕/川島聡編『障害者の権利条約と日本—概要と展望』生活書院 2008

『季刊福祉労働 121』2008 に書評的投稿文として掲載

たわしの「読書メモ」 ブログ 0025

・大庭健「廣松カント論を読む」大黒岳彦「廣松渉はいかなる意味において‘カント的’であるのか？」近堂秀「近代認識論の超克へ向けて」(『情況 2007.11・12月号』特集「廣松渉『カントの「先験的演繹論」』をめぐって」 情況出版 2007 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0024

・松井賢太郎「廣松共同主観性論のトポス—ヒュームとカントのくあいだ>」(『情況 2007.11・12月号』特集「廣松渉『カントの「先験的演繹論」』をめぐって」 情況出版 2007 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0023

・渋谷要『アウトノミーのマルクス主義—廣松哲学と主権の現象学 3』社会評論社 2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0022

・長瀬修/東俊裕/川島聡『障害者の権利条約と日本—概要と展望』生活書院 2008

・DPI 日本会議編集/東俊裕監修『障害者の権利条約でこう変わる Q&A』解放出版社 2007

たわしの「読書メモ」 ブログ 0021

・今村仁司/三島憲一/鷲田清一/野家啓一『現代思想の源流—マルクス ニーチェ フロイト フッサール』講談社 1996

たわしの「読書メモ」 ブログ 0020

・佐野美津男『イメージの誕生-子どもにとって美は存在するか-』農山漁村文化協会 1978

たわしの「読書メモ」 ブログ 0019

・市川恵美子『手話通訳なるほど講座—手話と手話通訳の力を磨く』クリエイツかもがわ 2008(ブログ遅れて掲載)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0018

・仲正昌樹編 ゲアラッハ/マイホーファー/姫岡とし子著『ヨーロッパ・ジェンダー研究の現在-ドイツ統一後のパラダイム転換』御茶ノ水書房 2001

たわしの「読書メモ」 ブログ 0017

・仲正昌樹編 ゲアラッハ/マイホーファー/姫岡とし子著『ヨーロッパ・ジェンダー研究の現在-ドイツ統一後のパラダイム転換』御茶ノ水書房 2001

たわしの「読書メモ」 ブログ 0016

・田中耕一郎論文「社会モデルは<知的障害>を包摂し得たか」(障害学研究編集委員会『障害学研究 3』障害学会 2008 所収)

たわしの「読書メモ」 ブログ 0015

・障害学研究編集委員会編『障害学研究 3』(障害学会 発売元明石書店)2008

たわしの「読書メモ」 ブログ 0014

- ・大熊由紀子『恋するようにボランティアを一優しき挑戦者たち』ぶどう社 2008  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0013
- ・竹内章郎「能力に基づく差別の廃棄」(『哲学 No.49』法政大学出版局所収)  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0012
- ・牧野英二「廣松哲学とカント哲学のコペルニックス的転回の射程」(『情況 2007年11・12月号』(情況出版)特集1 廣松渉『カントの「先験的演繹論」をめぐって 所収) 2007  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0011
- ・ジャック・デリダ『マルクスの亡霊たち——負債状況=国家、喪の作業、新しいインターナショナル——』(藤原書店) 2007
- ・ジャック・デリダ『マルクスと息子たち』(岩波書店) 2004  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0010
- ・ジャック・デリダ「差延」(『哲学の余白(上)』(法政大学出版局) 所収) 2007  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0009
- ・ジャック・デリダ『根源の彼方に—グラマトロジーについて(上)』(現代思想新社) 1972
- ・ジャック・デリダ『根源の彼方に—グラマトロジーについて(下)』(現代思想新社) 1972  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0008
- ・ジャック・デリダ『声と現象』(法政大学出版局) 2005  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0007
- ・ジャック・デリダ『エクリチュールと差異(下)』(法政大学出版局) 1983  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0006
- ・ジャック・デリダ『エクリチュールと差異(上)』(法政大学出版局) 1977  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0005
- ・マイケル・ライアン『デリダとマルクス』(勁草書房) 1985  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0004
- ・ジャック・デリダ『言葉にのって』(ちくま学芸文庫) 2001  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0003
- ・高橋哲哉『デリダ—脱構築』(講談社) 2003  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0002
- ・斉藤慶典『デリダ—なぜ「脱・構築」は正義なのか』(NHK出版) 2006  
たわしの「読書メモ」 ブログ 0001
- ・トーマス・クーン『コペルニクス革命』(講談社学術文庫) 1989